

第1回遠軽町まちづくり会議（丸瀬布・白滝地域合同開催）		
開催日時	平成28年9月21日（水）18時30分～20時50分	
開催場所	丸瀬布コミュニティセンター ホール	
出席委員	別紙のとおり	
欠席委員	別紙のとおり	
事務局	佐々木町長、加藤部長、佐藤課長、只野丸瀬布総合支所長、村上白滝総合支所長、今井主幹、前川主幹、吉岡主幹、松村係長、川崎係長、田中主任	

議件	発言者	内 容
		開会前に委嘱状の交付
1 開会	佐藤課長	会議の議長につきましては会長が行う事となりますが、今回は第1回目の会議でありますことから、議事の進行につきましては事務局の方で進めさせていただきます。
2 町長挨拶	佐々木町長	合併後、一体感が一番大事だと思ってまちづくりに取り組んできた。10年で足りなかった部分は、本会議を通してまちづくりにつなげていきたい。
3 委員紹介		
4 議件	今井主幹	(内容説明)
(1)まちづくり会議について	佐藤課長	ただ今の説明について、ご質問等ございませんか。
	今野委員	全体会議を検討しているとのことだが、いつ頃を予定していますか。
	佐藤課長	同じ形態でもう1度したいと考えています。4地域の会長、副会長による合同会議も予定しています。
	今野委員	今後、開催回数等、検討することとなるのでしょうか。
	佐藤課長	委員からの要望があれば検討したいと思います。
	(2)会長及び副会長の互選について	佐藤課長
	塘委員	会長に柳田友之さん、副会長に上野善博さんを推薦します。
	佐藤課長	ただ今、会長に柳田さん、副会長に上野さんが推薦されましたが、これにご意見はありますか。

	全委員	拍手
	佐藤課長	<p>それでは、丸瀬布地域まちづくり会議会長に柳田友之さん、副会長に上野善博さんが選出されました。</p> <p>つづきまして、白滝地域まちづくり会議の会長等の互選を行います。互選の方法について、ご意見はありませんか。</p>
	今野委員	会長に矢木優さん、副会長に大久保真由美さんを推薦します。
	佐藤課長	ただ今、会長に矢木さん、副会長に大久保さんが推薦されましたが、これにご意見はありませんか。
	全委員	拍手
	佐藤課長	<p>それでは、白滝地域まちづくり会議会長に矢木優さん、副会長に大久保真由美さんが選出されました。</p> <p>柳田会長、矢木会長より挨拶</p>
(3)平成28年度以降の主な施策について	今井主幹	(資料1、資料2、資料3、その他により説明)
	今野委員	遠軽IC道の駅という事ですが、遠軽ICという名称は決定ですか。
	佐藤課長	開発の方から、遠軽ICと遠軽瀬戸瀬ICは決定という事で聞いています。
	佐々木町長	確かに、開発の方では別の考えもあったと思います。それをやられてしまうと、新たな道路の整備や、まちづくり自体が変わってしまう。
	加藤部長	ここは遠軽ICで決定したという事で開発からも言われています。遠軽ICのあとにJCを作るという話はあるようです。そこから北見方面と紋別方面へ行くという話はあるようですけれども、遠軽ICの先の話は聞いておりません。
	佐々木町長	それと、先ほど物流というお話をしましたが、この道路は命の道という意味もあります。遠軽厚生病院は、2次医療センターとして頑張っております。今、産婦人科の方に頭がいてしましますが、脳疾患の事を忘れてはいけません。今はもう常勤がいません。紋別からだとどうなるのか。そういった意味で、道路の整備は進めていかなければなりません。これはJRにはできない事です。
	今野委員	それともう1つ。町民センターについて、元の遠軽交通の所の買収はどうなったのでしょうか。
	加藤部長	そこに1番最初にお話をさせていただきました。最初の感触は良かったのですが、いろいろお話をさせていた

		だき、結果的に残念な形になりました。そこが取得できれば、駅の階段の解消を建物の中を使ってと考えておりました。ただ、階段の解消は、別の方法で考えようと思っています。
	今野委員	検討委員会の中では、これをやることによって、駅前開発も含めてできるだろうという見解でした。
	加藤部長	それで、1番初めにお話をさせていただきましたが、交渉はうまくいきませんでした。
	佐々木町長	2年以上かけて地権者と交渉してきたが、成立しませんでした。そこがあれば、エレベーターかエスカレーターをつけ、将来、遠軽駅の改築に合わせて一体性を持たせられましたが、いつまでも待ってられないので、別の方法を検討しています。
	加藤部長	将来、地権者の意向が変わることもあるかもしれませんが、その辺も含めて、基本設計を検討していきたいと考えています。
5 講話	佐々木町長	「遠軽町のまちづくりについて」
6 意見交換	佐藤課長	それでは、ここで意見交換とさせていただきます。全般に関する事でも、各地域に関する事でも構いませんので、ご意見を伺いたいと思います。
	今野委員	財政面の事だけ考えるのであれば、核廃棄物処理施設の関係で、今回、国の方から根室方面へ打診があったようですが、仮に遠軽町へ打診があった場合は対応をどう考えていますか。受け入れることによって、財政面ではかなりの交付金が見込まれると思うのですが。
	佐々木町長	核廃棄物については、財政の問題ではなく、どこかで受け入れなくてはならないものなので、国として考えてもらうべきだと思います。
	今野委員	国としては、道東の方は活断層もなく地震も少ない所という事で、根室方面へ打診したようです。
	佐々木町長	旧遠軽町地域は、活断層は未だ発見されていません。ただ、今見えていないだけでわからない部分もあるという話もあるので、難しい話だと思います。
	佐々木町長	子育て支援の関係はどうですか。白滝は、0歳児保育の話聞いて、1次産業の維持という位置づけで実施しました。
	矢木委員	今日の講話のようなものは、なるべくやっていただきたい。それと、今回の災害の関係で、農家に被害が出てい

		るので、1次産業が生き残るためのケアをしてほしいと思います。
	佐々木町長	今回については、白滝地域に3回ほど現場を見に行きました。作物の関係は共済の方で迅速に対応するという話があったところです。激甚災害の件は、基本的に個人の農地については対象とならないようなので、要望を上げることはできます。
	柳田委員	1次産業が重要というのは分かりますが、1次産業に限らず、戸数があるということが町の運営においても1番いいことだと思います。そういった点で、今までの補助金の出し方を見ると、大規模化に対する補助金ばかりのような気がします。補助金を使って大規模な機械を導入した方は、ランニングコストがかかり、かえって負担が増え、やめてしまった方もいると思います。もう少し、中小の農家に対して補助が増えるといいと思います。丸瀬布も遊休農地が増えてきているので、そういった観点からも戸数を増やすようなお金の使い方をしてほしいと思います。担い手についても、町内外の農家の方のお話を聞くと、遠軽町はあまり熱心でないという感触を受けます。
	佐々木町長	担い手や新規就農に関しては、合併前の遠軽町時代からずっとやってきていますが、全く成果が出ないという事で、2年前からやり方を変え、専任の職員を配置し、そこから新たなものを立ち上げていくという事で進めています。
	今野委員	年内にもう一度会議を開くという事ですが、同じ形で開催するのでしょうか。検討委員会などとは違って、その都度、会議の中で対話するという事ですね。
	佐々木町長	委員同士の中で意見交換する場であっていいと思います。昨日の会議では、合併したのに、地域ごとに委員を選出してやること自体がどうなのかという意見もありました。色々な意見を聞いて、予算化するような場にしたいと思います。
	山崎委員	子育てについて、白滝地域は新規就農の方もいますし、担い手の若返りを図ってきています。そこで、教育の面で、少子高齢化で児童数が減ってきている状況ですが、町として、学校の持って行き方はどうお考えでしょうか。統廃合など、若い世代の方たちにとっては重要な事だと思います。

	佐々木町長	人口は日本全体で減って行きます。その中で教育をどうしていくのか教育委員会の見解もありますが、町としては地元の方々の意見を尊重していきたいと思っています。支湧別小学校も、最後2人になっても廃校にするとは言いませんでした。旧遠軽町の社名淵小学校の時もそうでした。社名淵は、子どもの教育上、社会性が養われないという意見もあり、廃校という形になりました。その代り、バスの確保や校舎の有効活用などの要望がありました。その点で教育長との認識も一致しています。
	今野委員	中学校も同じでしょうか。
	佐々木町長	同じです。ただ、部活の関係もあるので、大変だと思えます。部活となると色々な制約があつて、難しい面もあります。
	今野委員	今度、6人世帯の方が当社に入社することとなりました。転入者に対する特典は何かないですか。
	佐々木町長	一時の給付という事も良いのかもしれませんが、やはり産婦人科の体制をきちんとするという事が大事だと思います。今1人来てもらいましたが、あと2人は何とかしようと思っています。スカウトは続けながら、制度をきちんと作ってほしいという要望も続けていきます。実際、若干動きがある様な話も聞こえてきています。
7 閉会	佐藤課長	ありがとうございます。 この辺で、今回は終了とさせていただきます。次回以降は、会長、副会長と調整させていただきながらご案内いたしますので、よろしく申し上げます。